

2012年度の大阪自治労連の役員

この1年間、よろしくお祈いします

▶執行委員長 前田仁美 (大阪府職労) / ▶副執行委員長 前田博史 (吹田市職労) / 大原真 (松原市職労) / 中山直和 (大阪市労組) / 西脇美子 (高槻市労組) ▶書記長 荒田功 (東大阪市職労) ▶書記次長 佐野良二 (堺市職労) ▶執行委員 竹中道子 (大阪府職労) / 高本幸義 (大阪府職労) / 塩見悦子 (堺市職労) / 渡辺真千 (羽曳野市職労) / 芝山光代 (大阪府職労) ▶会計監査委員 木戸良一 (社保労) / 寺田俊一 (和泉市職労) / 上野正高 (吹田水労) ▶青年部選出執行委員 八尾高志 (大阪市労組) ▶婦人部選出執行委員 黒田則子 (松原市職労) ▶壮年部選出執行委員 山本久夫 (堺市職労) ▶現評選出執行委員 山岡作雄 (守口市職労) ▶公企評選出執行委員 植本真司 (堺市職労) ▶関連評選出執行委員 仁木将 (吹田関連労組) ▶地協選出執行委員・大阪市内 前田治敏 (大阪府職労)、堺・阪南 岸岡晃三 (堺市職労)、中河内・河南 小西誠 (羽曳野市職労)、北河内 竹村修 (交野市職労)、北摂 浅井久二 (豊中市職労) ▶特別執行委員 久保貴裕 (本部) / 鴻村博 (本部) / 猿橋均 (羽曳野市職労) / 出向井三利 (吹田関連労組) / 橋口紀塩 (大阪府職労) / 宮武正次 (枚方市職労) / 山口毅 (堺市職労)



民営的自治体建設では、「マスコミは橋下対平松の構図だが、2人とも構造改革路線。市民のくらし優先の市政へ奮闘したい」(大阪府労組・大阪市学童指導員労組)、「政治の転換でくらしが変わる。人として大切にされるというのを日本中に示そう」(東大阪市職労)など、3つの首長選挙を一体として闘う決意が語られました。

務災害認定闘争が本部審査会で逆転勝利判決を勝ち取り、「組合があつてよかった」と大きな確信となつている「吹田市職労」など、厳しい攻撃の中でも、要求を正面から掲げて闘い、改善をさせた貴重な経験が報告がされました。

賃下げの「暴走」攻撃 許さない闘いを

賃金・労働条件の改悪攻撃に対する反撃では「大幅賃下げ強行に対する闘争を継続中。公平委員会への措置要求を全職員の70%、588人連名で提出した。『ピンチをチャンスに』元気にたたかっている」(泉佐野市職労)、「賃金改悪・人員削減・市民犠牲の『行政の維新プロジェクト』に対して、闘争委員会を立ち上げ、学習会をはじめ団結強化と住民との共同ではね返していく決意」(吹



大会であいさつに立つ前田仁美委員長

「構造改革」を止め、大阪の新しい歴史を刻もう

大会冒頭のあいさつで前田委員長は「大震災の復興で、原発を止め、それに変わるエネルギーに転換するのかがどうか、またもや構造改革路線を再起動するのか、構造改革政治をきっぱり止めるのか、今や、その道の選択であることは国民の多くが認識しているところ」と強調。「憲法と地方自治を土台にした自治体と職場・仕事づくり運動、自治体の公共性・専門性を取り戻す運動、組織の強化・拡大と次世代育成を全力で追求しよう」と訴えました。そして、「橋下・維新の会をはじめとする強権的な構造改革路線派の攻撃をはね返し、東大阪市長選挙とそれに続く大阪府・大阪市のダブル選挙に勝利し、大阪における新しい歴史を刻もう」と訴え、「『元気な職場をつくる』要求闘争の前進、新しく青年のつながりを強めてきた青年運動の強化と次世代育成などに力を注ぎ、組織の拡大・強化にまい進しよう」と呼びかけました。

自治体の公共性より市民の元気な職場をつくる



震災支援で再認識した 行政・自治体労働者の役割

討論では、「東日本大震災支援に学童保育のボランティアに行ってきたが、子どもの心のケアはこれから大切な時期、心を一つに復興支援を」(公務公共一般・柏原学童分会)、「行政支援でも行った人が、ボランティアにも参加。『機会を与えてくれた自治労連に感謝している』と伝えてと言われた」(寝屋川市職労)、「保健師として行政支援として被災地に行ったが、保健所統廃合で保健師も少なく混乱していた。公衆衛生の公的責任も重要だと痛感した」(府職労)、「震災の映像で衝撃を受けた。直ちにカンパ活動に取り組んで組合への信頼も高まった。支援の実

「数は力」語り合いを大切に 前進する組織拡大

田市職労)、「また、高石・和泉でも全面的な攻撃が広がっていることが報告されました。」「非常勤職員組合の19人が水傍に加入、正規と非正規いっしょ議論。いっしょにたたかう」(吹田水労)、「しゃべり場の定期開催などで、4月から毎月連続拡大している」(大阪府職労)、「青年の力と執行部の連携で新採の加入者を獲得」(高槻市職労)、「組合説明会を兼ねた歓迎会に昨年加入した組合員の90%が参加し、市職労加入をすすめてくれた。結果新採12人中10人が加入してくれた」(交野市職労)、「昨年12月に、障害者支援施設の指定管理化の動きに雇用不安を覚えた嘱託職員2人が組合に加入、その後5月末にもパート職員2人が加入した」(豊中市職労)、「のびのび子育てプラザの指定管理化の動きに対して、職場討議・学習重ね、組合に入って頑張ろうと管理職除き全員が組合員となり、8つ目の支部となった」(吹田関連)、「

要求をほりおこし 正面にかけ闘う

職場での闘いでは「確定闘争で、職場集会・学習会・財政分析を力に独自賃金カット中止、56歳からの賃下げ阻止、不利益遡及阻止を勝ち取り、人員闘争では、今年度途中の採用を実現した」(守口市職労)、「年3回の全職場討議で要求掘り起こし、保護課での要望に応えて、ストープ8台購入されるなど身近な要求実現で、『組合のおかげ』と信頼感がアップした」(門真市職労)、「6年間採用がなかった現業職の採用を勝ち取った。行Ⅱ導入を余儀なくされたが、単純に行Ⅰ・行Ⅱに切り分けられない職場実態を当局に突きつけるたたいをすすめていく」(枚方市職労)、「ごみ収集作業による腰痛の公

住民要求の実現は 民営的自治体建設で

「青年部の会議も活発になってきた。役員がやりたいことを出し合い実践するようになってきた。しかし役員交代が激しいので、次世代担う役員が必要」(青年部)など職場の悩みや要求に応え、組織拡大に奮闘する経験も多く語られました。

北海道自治労連 / 自治労連秋田県本部 / 岩手自治労連 / 自治労連福島県本部 / 東京自治労連 / 自治労連千葉県本部 / 長野自治労連 / 静岡自治労連 / 自治労連愛知県本部 / 京都自治労連 / 奈良自治労連 / 和歌山自治労連 / 兵庫自治労連 / 自治労連鳥取県本部 / 高知自治労連 / 自治労連愛媛県本部 / 長崎自治労連 / 自治労連 近畿地方ブロック協議会 / 国公労大阪地区連合会 / 通信産業労働組合 / 国労大阪地区本部 / 建交労大阪府本部 / 化学一般関西地方本部 / 全印総連大阪地区連 / 全国一般大阪府本部 / 大阪医療労働組合連合会 / JMIU大阪地区 / 生協労連大阪府連 / 大阪年金者組合 / 全港湾薬神支部 / 全港湾薬港支部 / 日本音楽家ユニオン 関西地方本部 / 豊能地区協議会 / 北河内地区協議会 / 堺市連 / 阪南地区協議会 / 大阪府地区協議会 / 大阪府市町村職員共済組合 / 大阪府市町村職員年金者連盟 / あゆみ印刷 / 関西共同印刷所 / かんきょうMOVE / 日本国民救援会大阪府本部 / 大阪府をよくなる会 / 進歩と革新めざす大阪懇話会 / 憲法改悪阻止大阪府各界連絡会議 / センターツーリスト / 民法法律協会 / 農民組合大阪府連合会 / 全大阪借地借家人組合連合会 / 大阪府アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 / 新日本婦人の会大阪府本部 / 原水爆禁止大阪府協議会 / 大阪学童保育連絡協議会 / 関西勤労協 / 大阪府保険医協会 / 全大阪消費者団体連絡会 / 非核の政府を求める大阪の会 / 安保破棄諸要求貫徹大阪実行委員会 / 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部 / 全大阪生活と健康を守る会連合会 / 大阪文化団体連合会 / 教育文化センター / 大阪労連共済 / 京橋共同法律事務所 / 北大阪総合法律事務所 / 山名邦彦法律事務所 / 関西合同法律事務所 / 大阪市長平松邦夫 / 堺市長 竹山修 / 岸和田市長 野口 聖 / 豊中市長 浅利敬一郎 / 泉大津市長 神谷 昇 / 高槻市長 濱田剛史 / 貝塚市長 藤原龍男 / 枚方市長 竹内 脩 / 茨木市長 野村宣一 / 八尾市長 田中誠太 / 泉佐野市長 千代松大耕 / 富田市長 多田利喜 / 寝屋川市長 馬場好弘 / 和泉市長 辻 宏康 / 羽曳野市長 北川嗣雄 / 門真市長 園部一成 / 高石市長 阪口伸六 / 藤井寺市長 國下和男 / 四條畷市長 田中夏木 / 交野市長 中田仁公 / 大阪狭山市長 吉田友好 / 能勢町長 中 和博 / 岬町長 田代 堯 / 河南町長 武田勝玄 / 千早赤阪村長 松本昌親